

施設の概要



昭和62年9月1日開設



障害者支援施設
西はりまリハビリテーションセンター

施設入所支援	50名
生活介護	50名
相談支援	

平成9年3月1日開設



障害者支援施設
西はりまナーシングヴィラ

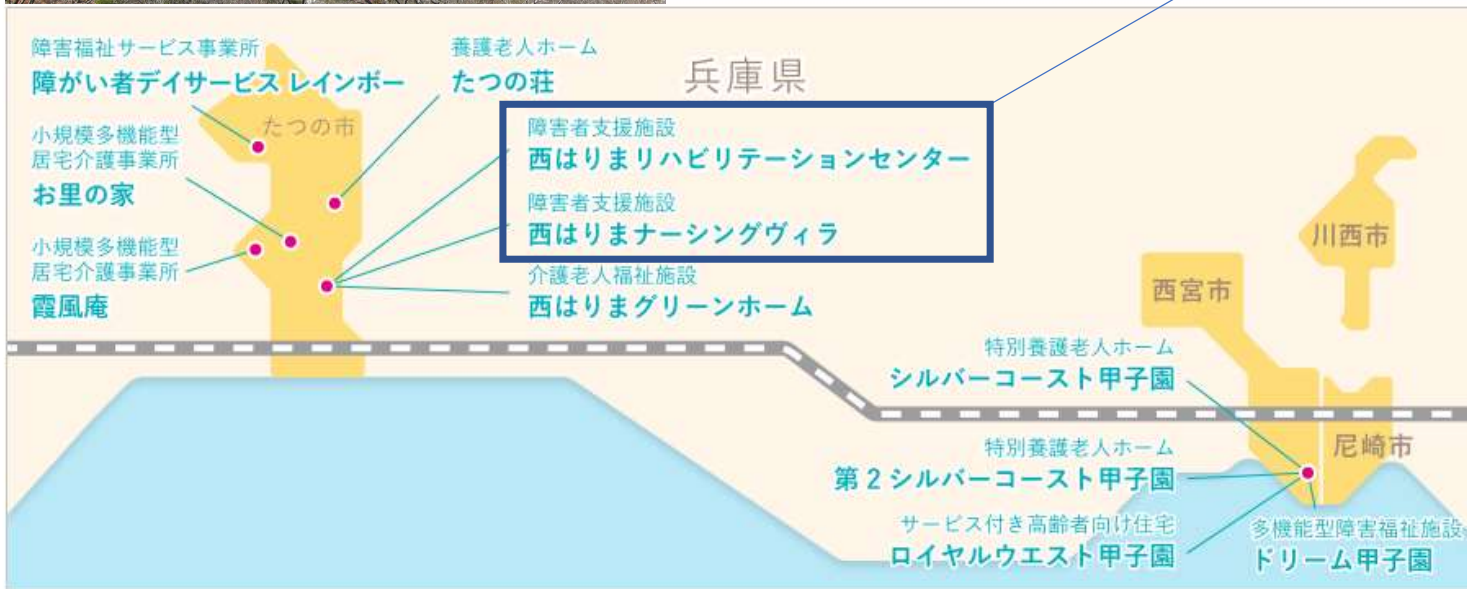
施設入所支援	30名
生活介護	30名
短期入所	6名

併設



障害福祉サービス事業所
障がい者デイサービス レインボー

生活介護	20名
就労継続支援B型	10名



ノーリフティングケア導入経過

- 平成27年 安全衛生委員会を中心に職場におけるノーリフティング
ポリシーの考え方に基づいた腰痛予防の取り組みを開始する
- 平成28年 徐々に福祉用具を導入
- 平成30年 法人における安全衛生方針の掲示
- 令和元年 当施設においてノーリフティングケアを宣言
- 令和2年 ノーリフティングケアマネジメント研修を受講
腰痛予防対策チーム⇒ノーリフティングケアマネジメントチーム
- 令和4年 ノーリフティングケアモデル施設の認定

腰痛保有率の変化 (その年の発生率)

H28年度 66% → R4年度 15%

＼持ち上げない！＼抱え上げない！＼引きずらない！

ノーリフティング ケア宣言!!

⚠ 当施設では積極的に介護福祉機器を導入し職員の高齢予
防と利用者様の安全・安心のためにノーリフティングケ
アを実践していきます。

電動ベッドの機能をフルに活用しよう!

昇降機能の活用
中腰ダメ!

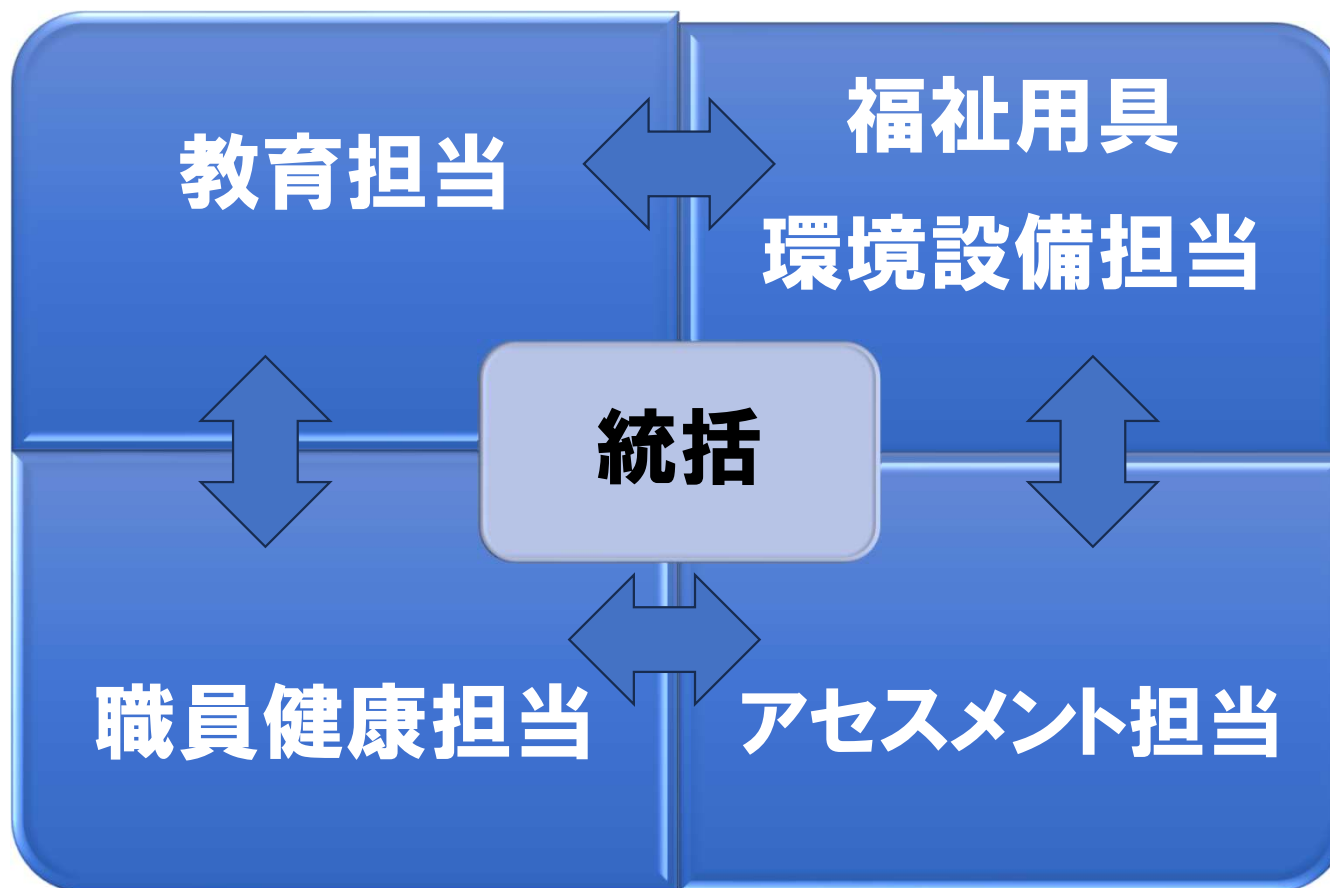
ギャジアップ機能の活用

介護福祉機器を積極的に導入します!

リフトの活用

社会福祉法人 円勝会 西はりまリハビリテーションセンター
西はりまアーシングウィラ

ノーリフティングケアマネジメントチーム



かるがる導入のきっかけ

バリアフリー展への参加

敷いたままにすることを前提としたスリングシート

従来のスリングシートは敷いたままにするのはNG

敷いたままにすることでスリングシートを敷く回数が減り
利用者・職員ともに負担を減らすことができるのではないか

導入前の疑問点

- 素材を見る限り耐久年数が短いような気がする
- どの程度職員の介護負担軽減になるだろうか
- 車椅子上で敷いたままにすることで利用者のずり落ちや転落のリスクはないだろうか
- 今までツーピースベルトタイプや脚分離タイプのシートしか取り扱ったことがなくシート型は初めてで上手く扱えるだろうか

かるがるの導入計画

統括	進捗状況を把握しながら各担当の円滑な連携を図る、必要に応じて変更・中止の判断 シート購入に関して必要であれば助成金などの情報を集める					
教育担当				使用方法を検討 職員への周知方法 を検討・実施		
福祉用具 環境設備担当		サンプル商品を 業者に依頼		シート購入と 管理方法の検討		定期的な点検
職員健康担当	職員・利用者負担 状況把握					変更後の職員利用 者の負担状況の把 握
アセスメント担当	支援状況の把握		使用可能かどうか 判定・必要枚数の 揭示			利用者の身体機能 の変化に伴う 仕様変更の評価
OT			使用可能かどうか 判定			利用者の身体機能 の変化に伴う 仕様変更の評価
サビ管					介助方法の変更を 職員に周知 必要に 応じて家族へ連絡	使用状況の確認と 継続した様子観察
主任 ケース担当						使用状況の確認と 継続した様子観察

教育担当

今までシート型のスリングシートを使用したことがないが上手く扱えるだろうか

- **業者よりサンプル商品の説明を聞き、注意点をまとめる**
- **アセスメント担当より評価された各利用者の使用時の細かな注意点や手順について整理**
- **使用マニュアルの作成**
- **職員全員への周知方法の検討・実施**



福祉用具・環境整備担当

- 全ての福祉用具の管理
- 新しい福祉用具の検討 (バリアフリー展への参加)
- サンプルの依頼
- 購入手続きとシートの管理方法の検討
- **中心を脊柱に合わせやすいように
シートに中心線を記入**
- 破損がないか定期的な点検



アセスメント担当

- **PTによる介護リフト使用時の評価**
股関節屈曲制限がある方は吊り上げ時シートをうまく敷いていないと前方へずり落ちる可能性がある
- **OTによる車椅子上及びベッド上での姿勢の変化について評価**
車椅子において元々ずり落ちがある方へは不向き
不随運動や認知面に問題のある方はスリングシートの引っ掛ける部分を織り込んでおかないと手足や首にからまる可能性がある
- **問題点の整理**
- **シートの必要枚数の提示**

職員健康担当

- **利用者の支援状況の把握**

多い利用者で離床⇒朝食⇒静養⇒昼食⇒静養⇒夕食⇒着床
計6回の移乗でその都度スリングシートの抜き差しを行っていた



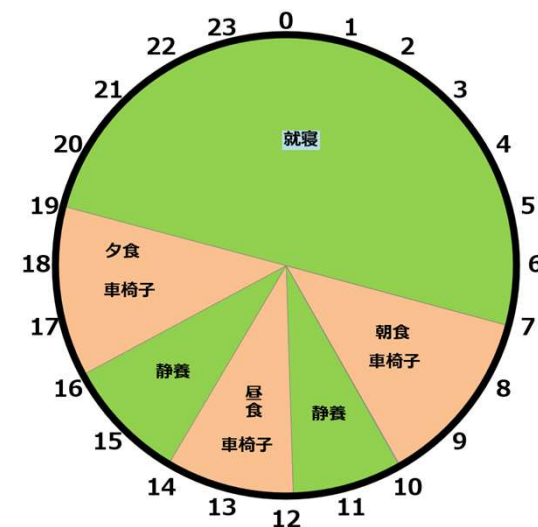
離床時にシートを入れその後着床までシートを抜かないため1回の抜き差しで完結

- **職員の負担状況の把握**

車椅子上でスリングシートを入れることがなくなり負担減少
座位保持装置の方も対象になり介護リフト移乗を断念していた方も可能になった
スリングシートを探しに行く手間が減った

- **効果判定**

今までの介助 1回の移乗 約6分⇒かるがる約1分
1日6回の移乗と考えると約36分⇒約6分



利用者一人当たり
約30分の介護時間短縮

かるがる使用上のまとめ

注意点

- ・中心線がずれていると吊り上げ時利用者の負担になりやすい
- ・シートの下位端を適切な位置にしておかないと前方へ
ずり落ちるリスクがある
- ・車椅子上でシートがずれると敷き直しは困難
- ・利用者の身体機能の評価が必要
- ・慣れが必要である

側臥位維持が困難な利用者の清拭も
両手フリーな状態で可能に

メリット

- ・シートを抜き差しする回数が減ることは
利用者職員ともに大きいメリット
- ・車椅子上での敷き込みがなくなるのは
職員の負担軽減
- ・シート型であるが故にリフト移乗が可能に
なる利用者も



マネジメントまとめ

教育担当

業者による説明まとめ
利用者に応じた細かな
注意点の把握
マニュアルの作成
周知方法の検討・実施

再改善提案

職員健康担当

職員の負担状況把握
利用者支援状況の把握
効果判定
職員・利用者の声の収集

使用改善案の提案

管理・運用の伝達依頼

新しい福祉用具による
効果判定依頼

細かな使用注意点の伝達

リフトを使用していなかった
利用者の再評価依頼

福祉用具・環境改善担当

新しい福祉用具の検討
サンプル依頼
必要枚数の購入
管理・運用方法の検討
使用改善案の検討
定期的な点検

必要枚数の提示

アセスメント担当

使用にあたる利用者の評価
改善点の提案
必要枚数の提示
身体機能の変化による再評価

評価依頼